＜第三種郵便物認可＞

—橘 三朗—

企業の志魂（こころ）

歴史に人あり
人に志あり
企業に魂あり

（広告）

http://kigyonokokoro.com/

Vol. 1196

2015.6.14

第一工芸社

「一日世に在れば一日為すあり」 究極のオフィス空間を提供

（唐の詩人李白）は「天我が材を生ずるは必ず用有り」と詠み、吉田松陰は「一日世に在れば一日為すあり」と気概を示した。孔子もまた「君子、一日生きれば一日世に利あり」と説いている。いずれも無為に一日を過ごすことを拒み、持てる力を一日一日精一杯に費やすことを念じ、実践し続けた時代の先覚者であった。人も企業も日常の業務を漫然と繰り返すのではなく、常に新たな挑戦を心掛けたい。

㈱第一工芸社（代表取締役・近藤 久夫氏）は、1947年創業、人と環境にやさしいオフィス空間を提供している老舗企業。木製家具の建付けからスタートして以来、オフィス家具の販売やオフィス設計デザイン、内外装の建築工事まで幅広く請け負う専門家集団だ。企業ごとに働き方が多様化する昨今、長年培ってきた経験に裏打ちされた提案力を背景に、課題を解決してくれるオフィス空間づくりの評価が高い。〝Solutions First〟を企業理念として掲げており、社員一人ひとりがプライドを持って業務に取り組む姿は、まさに「天我が材を生ずるは必ず用有り」の如き使命感といえよう。創業者が第一人者たれとの想いから名付けた社名を誇りに、「一日世に在れば一日為すあり」が如く真摯に研鑽を重ねる姿勢も同社伸展の礎だ。今後は三代目となる現社長を中心に、チームワークを以ってナンバーワンのパートナーとなることを目指しており、百年企業に向かって新たなチャレンジを続ける気概が清々しい。

港区新橋6・22・4

国際友好交易

信用の背景に確かな学術活動 長寿社会の健康飲料メーカー

（杉田玄白）は西洋医学翻訳書『解体新書』を著し、日本医学の近代化や蘭学の進展に熱情を傾けた先覚者。小浜藩医をしていた父の後を継いで侍医となり、三十九歳の時に中川淳庵に勧められ『ターヘルアナトミア』の翻訳を志す。当然ながら辞書もなく、暗号を解読するような作業であったが、約四年の苦心の末ついに完成。彼の夢をあきらめない粘り強さが、日本学術史上記録的な仕事を成し遂げた。

㈱国際友好交易（代表取締役社長・眞子 英樹氏）は、中国を始めとするアジア諸外国の製品や原材料の輸入・販売、ならびに清涼飲料水「美露仙寿（メイルセンジュ）」の製造・販売を手掛ける健康飲料メーカー。「美露仙寿」とは、中国四千年の歴史と経験に現代の技術を組み合わせ、各種アミノ酸やビタミン・ミネラルなど多くの栄養素をバランスよく配合した健康飲料だ。同社設立と同じく1989年開催の第7回『国際免疫学会』において発表された、リンパ球増殖試験などの研究データを基に、中国とアメリカの研究チームが5年をかけて研究開発。発売以来24年、今では愛飲者が全国6万人を突破するロングセラーとなった。産学連携の学術活動と並行し、健康講演や健康アドバイザー講座、ボランティア活動も積極的に実施。保健福祉の向上を図ると共に、顧客同志が交流の輪を広げることにも努めている。今年「2015モンドセレクション金賞」を受賞し更なる注目が集まる中、明るい長寿社会づくりへの熱情は一向に冷めやらない。

千代田区内神田3・6・1

ゲンナイ製薬

毎日吉日の妊活応援サプリ 〝笑顔の種〟を製品に込め

（羽柴秀吉）は信長の死を知るや、中国大返しで備中から引き返し、居城の姫路城に入る。いよいよ山崎へ出陣するという前日、陣中僧が「明日は非常な悪日。城主が二度と帰らぬ」と進言した。一瞬、家臣団には不安が走るも「二度と帰らぬとは見事な吉日。勝って他所へ居城を構えよう」と秀吉は笑い飛ばして出陣。見事、光秀を討って天下人への道とした。このプラス志向こそ、秀吉の真骨頂だ。

ゲンナイ製薬㈱（代表取締役・上山 永生氏）は、医薬部外品、化粧品、サプリメントを自社で企画開発・販売する製薬会社。江戸の発明家・平賀源内にあやかってこれを社名とした。「一人でも多くの顧客を笑顔にし、社会貢献をする」ことを使命として2009年に設立され、敏感肌用保湿クリームで好評を博すと、2012年から妊活サプリ事業を開始。ミトコンドリアを活性化し生殖細胞を元気にする「プレグル®シリーズ」並びにそれを補助する「プレミン®シリーズ」が好調な販売を続けている。安心・安全にこだわり、全て国内生産。不妊治療専門医の監修のもと良質な成分を含有し、その根拠と自信に寸分の隙もない。曖昧な対応は一切排除し常に顧客目線の行動力で、期待を上回る製品やサービスに挑戦。そこにあるのは決して利益追求ではなく「多くの人を喜ばせたい」という思いと、商品へのこだわり、そして愛だ。全ての人への感謝の心が〝笑顔の種〟となり、風に舞い飛ぶ綿毛のように広い世界へ飛んでいく。

中央区新川2・9・6

武蔵境自動車教習所

自動車教習を〝面白く〟 地域を巻き込む『共尊共栄』

（高杉晋作）は「面白きこともなき世を面白く」という言葉を残し、この世を去った。看病をしていた女流歌人・野村望東尼（もとに）はこれに「住みなすものは心なりけり」と下の句を付け加えた。面白いことのない世の中も心持ち一つで面白くすることができる。仕事とはそのベースに学びがあり、さらに掘り下げるとその原点には遊びがあるもの。面白がることも、仕事を成功させる大切な要素だといえよう。

㈱武蔵境自動車教習所（代表取締役社長・高橋 明希氏）は、武蔵野市に根差し半世紀以上に渡り、人に優しい明日のドライバーを育ててきた優良教習所。若者の車離れが進む昨今にあって常に全国で上位の入所者数を誇っている。1960年に設立され一時は低迷に苦しむも、1989年に「自動車教習所は教育業ではなくサービス業である」と、大きく方針転換。教官と生徒ではなく、インストラクターと顧客という視点に立ち、自らの事業領域を〝感動追求業〟と定めた。サカイパラダイスとも称される様々な待ち時間サービスや、入所者を元気づける「ありがとうカード」など斬新なサービスを次々と導入。社員同士の意識共有を図り、士気を上げるための朝礼も、今や名物となった。教習コース全面を使って毎年開催される花火大会も同地域の一大イベントとなり『共尊共栄』の理念はエリア一帯を巻き込んで現実のものになりつつある。まさに仕事を面白がる姿勢で、自動車教習を通じ、顧客の一生の思い出を創ってゆく。

武蔵野市境2・6・43

櫻興業

原状回復・解体工事の名手 〝真心ある手仕事〟を追求

（堀秀政）の城下に何者かが彼の悪口を書き綴った札を立てた。家臣は怒って取り除こうとしたが、秀政は「今誰がここまでの諫言（かんげん）をしてくれるだろうか。ひとえに天の賜物と思いたい。この札は当家の宝である」と箱に収め、役人達を召し出すと、札に書いてあったことを検討し、改むべきは改めた。企業にとっても高い要求をされた時こそ成長のチャンス。試行錯誤を重ね挑戦する者に道は開ける。

㈱櫻興業（代表取締役・小櫻 貴大氏）は、飲食店・店舗の解体工事・原状回復ならびにマンション・オフィスのリノベーション工事を行う、内装解体のエキスパート。都内を中心に年間300件以上の工事を請負い、大手百貨店において豊富な実績を誇るなど、その幅広い対応力と確かな技術で信頼を築き、着実に成長を続けている。2002年に解体業者の印象を変えるべく「笑顔」「丁寧さ」「掃除と近隣への配慮」に力点を置いた解体業者を目指し設立。物件ごとに専門アドバイザーを置き、現地調査の立ち会いから不動産業者とのやり取り、周辺住民との良好な関係作りまで全てを行う親身な対応を実現させた。また産業廃棄物処理においても処分業者と提携し、適正処理と適正価格を両立。内装・外装の仕上げ工事に至るまで手間をかけずに費用を削減することが可能だ。いかに気持ちよく顧客に解体工事を終えてもらうか、いかに円滑に次の工程にバトンを渡せるかを心懸け〝真心ある手仕事〟追求の道を歩み続けている。

杉並区成田西1・25・5